

浄化槽で自然を守るきれいな排水を

生活には多くの水を利用しています。生活排水の汚れをきれいにして自然に返すことができる合併処理浄化槽を設置しませんか？

浄化槽とは、家庭からのし尿や排水を処理する設備です。その浄化槽には、し尿のみを処理する単独処理浄化槽と、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の2種類があります。（現在新たに設置できるのは、合併処理浄化槽のみとなっています）

合併処理浄化槽の仕組み

合併処理浄化槽はトイレの污水だけでなく、台所やお風呂・洗面所の生活排水も同時に処理する浄化槽のことです。

浄化槽の維持管理

浄化槽は微生物の働きで汚水を浄化するため、維持管理する必要があります。浄化槽の機能（微生物の働き）が低下すると、悪臭や地域の生活環境の悪化の原因になります。このため、法律により保守点検、清掃、法定検査が義務付けられています。

浄化槽設置整備事業

平戸市では、公共用水域の水質保全や衛生的な住環境の維持を目的に新たな合併処理浄化槽の設置や汲み取りまたは単独浄化槽からの合併浄化槽への転換に対する補助金を交付しています。詳しくはホームページまたは市民課窓口でご確認ください。

市民課生活環境班 ☎22-9121

夏休みの思い出

中国の夏休みは7月初旬から8月末と、日本とほぼ同時期です。しかし中国では、秋学期制（9月入学、7月卒業）を採用しており、卒業後、7月に行われます。卒業後、お別れ会や旅行などを行い、2カ月間という長い夏休みにたくさん思い出をつくりたいです。

日本の大学の卒業式では男性は袴やスーツ、女性は振袖に袴の人が多いようですが、中国では「学士服（アカデミックカウチン）」が多いです。

大学の卒業式で、私も学士服を着ました。式の後に帽子を空高く投げた瞬間、4年間での記憶と様々な感情が湧き上がり、「アー、卒業啦（卒業した）」と叫びました。そして、4年間一緒に寮生活



▲卒業式での私と大学のクラスメート達

を送った同級生と写真をいっぱい撮りました。卒業旅行は、同級生の実家「山水の天下」と呼ばれる「桂林市」に行きました。女性3人で初めてバーに行き、ドキドキのカクテル片手に歌手の歌を聞いたことは、日本に来る前の最高の思い出になりました。

今年の夏は平戸の花火大会が楽しみです！1発目の花火の音に合わせ、「アー、夏だ!!」と叫びたいです！



国際交流員
丁睿朗
(ティ・エイロウ)
(中国出身)

文化交流課交流推進班 ☎22-9143

「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です！
また、平戸市ホームページでも動画を公開しています！



「向月令和会」

向月地区では、平成31年3月から通いの場を始めました。この年は、年号が「平成」から「令和」に変わった時期でしたので、「向月令和会」と名付けました。平均年齢68歳、参加者20人ほどで毎週木曜日に楽しく活動しています。全身を使った体操から手指を動かす運動まで、色々な運動を取り入れています。運営が個人に偏らないように、ボランティアグループを3つに分け月別に担当するようにしています。お互いが知恵を絞り工夫することで、自主的に活動に参加する意欲が湧いています。今後も地域の皆さんと交流を深めながら、末永く続けていきたいと思っています。

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介します。

☎ 22-91333
長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター)

「みんないきいき元気」 高齢者の通いの場訪問

VOL.68

Interview

向月令和会

代表
吉住 栄重さん
(野子町)



広報ひらどの通いの場の紹介記事を見て、「向月地区でも取り組んでみたい」との声が上がり活動を始めました。

向月地区は、農業や漁業を営んでいる人も多く、全員が参加することは難しいですが、お互いに声をかけ合いながら活動を続けています。

コロナ禍で活動を休んだ時は、参加者同士で連絡を取り合い、家族や近隣の方にも協力を依頼し、声掛けを行いました。

今後は、体操に参加できない人へ茶話会を計画したり、菜の花など季節の花を植える緑化活動にも取り組んでいきたいと思っています。

活動日/毎週木曜日

午後5時30分～午後7時ごろ

活動場所/向月公民館

開催地区/向月

代表/吉住 栄重

